2025 年 5 月 28 日

学校法人三幸学園
名古屋ウェディング＆ブライダル専門学校
校長　古渕　泰弘　殿

学校関係者評価委員会
委員長　大塚　淳夫

学校関係者評価委員会実施報告

2024 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

１　学校関係者評価委員
① 大塚　淳夫　　（有限会社ビバーチェ　代表取締役）
② 大橋　ユカリ　（CANOW　代表取締役）
③ 藤原　信一　　（飛鳥未来高等学校　名古屋キャンパス長）

２　学校関係者評価委員会の開催状況
2025 年 5 月 22 日（会場　名古屋ウェディング＆ブライダル専門学校　応接室）

３　学校関係者委員会報告
以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2024 年度　学校法人　三幸学園　名古屋ウェディング＆ブライダル専門学校
自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者　：　副校長　山内朝子
学校関係者評価報告責任者　：　学校関係者評価委員会委員長　大塚淳夫

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて、日本そして世界の家族を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。
また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNo．１のプランナー・コーディネーターとなる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①　前年度重点施策振り返り
・主体性を育む教育
・退学率の低減
・検定合格率の向上
・掃除、挨拶の徹底

退学率は 2023 年度と比べると 2024 年度は若干減少した。その要因として、チーム担任制の果たす役割が大きいと考えられる。チーム担任のなかで、ベテランが新人を上手にフォローしながらクラス運営ができていることと、非常勤講師も授業はもちろん、生徒もこまめに気にかけて早期に対応ができているためだと考える。
検定合格率が昨年度よりも悪かったため、こちらは各資格でしっかりと対策をたて、年度はじめより取り組んでいきたいと考えている。

②　学校関係者評価委員会コメント
大塚委員（ブライダルヘアメイク＆ドレス科）：退学率が微減したことは、教員のみなさんの努力の結果だと思うので、継続して取り組んでいただきたい。
大橋委員（ウェディングプランナー科）：社会に出る際に、気持ちよい挨拶はとても重要になってくるが、名古屋ウェディング＆ブライダル専門学校の生徒さんは、みなさん気持ちよい挨拶ができるので継続して取り組んでいただきたい。

3.評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

学校の理念や目的・人材育成像（ディプロマポリシー）に関しては、三幸学園全体で発信されており、また、各学校の教育目標、育成人材像等も分野によって方向づけられているので、学園全体としてしっかりと取り組めている。

生徒・保護者への周知に関しても、保護者説明会やスタートアッププログラム等でしっかりと周知が出来ているため、特に課題はないと考える。

② 今後の改善方策

継続して適正に運営をしていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員（ブライダルヘアメイク＆ドレス科）・大橋委員（ウェディングプランナー科）・藤原委員：教育理念目標は定められており、入学前の保護者会やスタートアッププログラム等で生徒・保護者等に周知しているということなので、継続して取り組んでいただきたい。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務･財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

総務･人材部･教育開発部を中心に、学園全体で統一した内容が発信、管理されており特に問題なし。

② 今後の改善方策

継続して適正に運営をしていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員（ブライダルヘアメイク＆ドレス科）･大橋委員（ウェディングプランナー科）･藤原委員：特に問題が無いと見受けられるので、引き続き、コンプライアンスには十分留意して学校運営をするようにしていただきたい。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成･実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育･実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫･開発などが実施されているか	4
関連分野の企業･関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成･見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技･実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施･評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価･単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務･兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識･技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

研修は提供しているが、参加自由のため、参加者が少ないことが課題。

② 今後の改善方策

自由参加でも積極的に参加ができるように工夫をする。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大橋委員（ウェディングプランナー科）：オンデマンドの研修とのことで、内容詳細や時間などイメージが付きづらいのではないか。組織としては統一したものを下せるのはいいが、地域性や年度の生徒の傾向に向けての研修を現場で行っていただいた方が興味を持てると考える。

藤原委員；高校は常勤向けで、ほぼ強制で研修を受けてもらっている。授業の型を勉強するものなので、生かすかどうかはその人次第だと考えるので、実のある受講をしているかは分かりかねるが、実のある受講ができることが一番よい。

大塚委員（ブライダルヘアメイク＆ドレス科）：オンデマンドであれば全体会議時の昼食の際に 30 分程度であれば流してみてはどうか。そのあと、みんなでワークをするのもよいのではないか。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

資格取得の合格率が昨対マイナス。

卒業生支援については足りていないと感じる。

② 今後の改善方策

今年度は今一度、結果を踏まえ、合格率を向上する対策を実施する予定。

卒業生支援は今年度より分野主導で全国ウェディング校にてオンラインで研修を実施する予定。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員（ブライダルヘアメイク＆ドレス科）：専門学校での資格取得はとても大切で専門学校に通う意味にもなっていると思うので、しっかりと検定率 UP に向けて対策を実施していただき、結果を残すことを期待する。

大橋委員（ウェディングプランナー科）：卒業してもサポートしてもらえることは卒業生にとってはとてもありがたいと思う。同じキャリアの卒業生であれば横のつながりもでき、御校卒業生としての誇りも持て、より卒業してよかったと思ってもらえると思う。

藤原委員：高校では 3 月に卒業して夏休みにプチ同窓会を実施することで、卒業生とのつながりを強化し、サポートしている。

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路･就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2
高校･高等専修学校等との連携によるキャリア教育･職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

高校との連携によるキャリア教育･職業教育の取組をより充実させていきたい。

② 今後の改善方策

キャリア教育は高校 3 年生ではなく、1 年生の時から実施をしていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

藤原委員：高校生の様子を見ていると、早めに動き出す生徒の方が進路（自分の夢）についてしっかりと動き、明確な目標があるように感じる。そのため、早めに沢山の選択肢を見せたいと考えているので、専門学校との連携も高校としても強化をしていきたい。

大塚委員（ブライダルヘアメイクアンドドレス科）･大橋委員（ウェディングプランナー科）：今後も高校と継続してつながりが持て、高校生に自分の将来にイメージが持てるようにしていただきたい。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設･設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災･安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

教育環境はしっかり整備されているため、課題は特に無い。

② 今後の改善方策

継続して適正な教育環境を整備していく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員（ブライダルヘアメイク＆ドレス科）･大橋委員（ウェディングプランナー科）･藤原委員：特に問題が無いと見受けられるので、継続して適正な教育環境を整備することを期待している。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

特に大きな課題はない。

② 今後の改善方策

継続して適切な運営をしていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

藤原委員:高校から見ても適性だと思う。今後も信頼できる募集を実施していただきたい。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算･収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算･収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3期中期計画（2023 年度～2027 年度）の2年目にあたり、中期計画及び進捗状況ははホームページ上に公開している。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

第3期中期計画については、東京未来大学及び小田原短期大学の中計改定に加え、東京みらい中学校及び支援学校仙台みらい高等学園の内容を追加し、第3期中期経営計画（第2版）として改定する予定である。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

特に大きな課題はない。

② 今後の改善方策

継続して適切な運営をしていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員（ブライダルヘアメイク＆ドレス科）・大橋委員（ウェディングプランナー科）・藤原委員：特に問題が無いと見受けられるので、継続して適正に実施していただきたい。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	1

① 課題
イオン様と連携したプロジェクトを継続していく。

② 今後の改善方策
イオン様以外の社会貢献・地域貢献を検討していく。

③ 特記事項
特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント
大塚委員（ブライダルヘアメイク＆ドレス科）大橋委員（ウェディングプランナー科）：今後の活動を期待しています。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果
具体的な目標や計画については、自己評価からは概ね適正であると考える。学校の健全な運営や改善につながるため、そして地域や業界から求められる、必要とされる学校になるため、今後も課題を把握し学校運営をしていく必要があると考える。

学校関係者評価委員会コメント
毎年、参加させていただいているが、自己評価は概ね適正であると思う。システムはしっかりと構築されているので、さらにより良い学校づくりのために、より浸透・活用をして運営をしていただき、社会に貢献できる学校づくりを期待しています。